

目標達成計画

作成日: 平成 23 年 4月 20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	夜間時の離床転倒を防ぐために柵をしたり、センサーをすることを提案する職員がいる。	身体拘束が安易になされないケアを行う。	定期的に身体拘束についての勉強会を持ち拘束する気持ち、される気持ちについて話し合う。	6ヶ月
2	1	理念について毎朝の申し送りで唱和しているが、実践に結びついていない。	理念を理解し、実践に結びつける。	理念についてホーム会議で、実践に結びついていないか、どうすれば実践できるかを話し合う。	12ヶ月
3	26	介護計画の把握ができていない、ケアの統一ができていない	介護計画に基づいた統一したケアができていない。	職員とモニタリングをし、計画書をつくり、実践する事を習慣づける。	12ヶ月
4	36	在籍が長い職員が入居者に慣れなれしい言葉をかける。	入居者の言葉が暴言であっても、その言葉を受け止め、理解する。入居者の状態が変わろうが、プライバシーと尊厳あるケアを行う。	人の尊厳について、日常の言葉・行為をどうして、職員と話し合う。個別に面談を行い、理解を求める。	6ヶ月
5	43	取り組みを新人に共有させていない為、継続ができていない。	排泄の自立支援への取り組みが継続され、気持ちよくすごすことができる。	フロア会議で定期的に支援継続を点検することにより、排泄支援の意義を話し合う。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。